

IT プロジェクト管理により、収益改善につなげる 為の「経営ダッシュボード」及び「シミュレーションエ ンジン」のご紹介

オラクルは、クラウドを中心に企業向けに様々なソリューションを提供する企業です。かつて、データベース中心だったソリューションの幅を拡大し、現在では、クラウドを中心に、データ活用を支援する企業へと変革を遂げています。今年からは、インダストリーにフォーカスし、業界の特性に合わせて、適切なソリューションを提供することを目指しています。

金融業界におけるオラクルの位置付け

オラクルは、金融業界向けのソリューション開発を適切に行うため、金融業界に特化した製品企画・開発を行う組織があります。金融規制動向や業界動向などをグローバルで研究し、どの企業よりも早く製品開発・販売に結びつける体制を整えています。特に、コアバンキング領域や経営管理領域（リスク管理など）では、グローバルでも高いシェアを誇り、1万人を超える要員が従事しています。これらの金融特化型と連携する形で、ERP や人事管理、顧客管理領域でのソリューションを提供し、金融機関の全ての領域でご活用いただけるものを提供しています。特に、ERP 領域では、多くのユーザーにご活用いただき、国内の大手金融機関の 8 割以上にご活用いただいている状況です。

AGILE FINANCE AND RISK / ソリューションラインナップ^o

オラクルは、金融機関様向けに Agile Finance and Risk という経営管理コンセプトを紹介しています。金融機関の複雑なデータソースを一元化し、金融規制対応や一般会計レポートなどを自動化することを目指しています。

グループ・グローバルシェアードサービス

デイリークローズ 日次経営管理

リモートワーク 購買管理・経費精算

プロジェクト管理・IT 予算管理

IFRS 対応 - IFRS9 号、IFRS17 号

自動照合

サブスクリプションマネジメント



収益改善をもたらすマネジメント基盤の強化を実現します

金融機関の IT プロジェクトに関して、原価の基礎データ(業務量、要員計画、稼働時間他)を把握する為の情報に散在している状況ではないでしょうか。膨大な Excel で管理している事で属人化しており、業績見通し・キャパシティ予測のシミュレーション、それに基づく意思決定について、迅速に対応できていないと推察しております。

現在、多くのお客様では会社間を越えたグループ全体の IT 管理が急速に進んでおります。新しい技術は新しい働き方を提供し、IT プロジェクト管理においてもデジタル化に取り組むべき時期が到来しました。

オラクルでは IT プロジェクト管理における手作業を完全に排除し、「収益改善」と「マネジメント基盤の強化」を実現します。今後、更に IFRS 対応による注記を含めた実務量の増加が見込まれ、今こそ将来に向けた DX への変革のチャンスであると考えております。

オラクルの IT プロジェクト管理システム導入による効果

オラクルのソリューションにより、「業績見通しの精緻化」と「要員過不足人数の可視化」を実現します。

例) 意思決定に必要な情報や軌道修正の為のアラートを事前に検知、マネジメント層がグループ全体で連携し、先手で改善策を実行。また、プロジェクト別損益を、予定原価ベースで計画・管理し、マネジメント層にとって計画の見通しを立てやすいものにします。

オラクルの事例・実績

オラクルは多数の実績がありますが、当該領域で導入している企業は 14 社あり、様々な導入効果を発揮しています。

特に、管理工数の削減 (KPI 2,500h/年) などで、概ね 30%程度のコスト削減を実現しています。

オラクルは財務会計・管理会計まで含むバックオフィス全体のソリューション全体を持っており、1つのソリューションで全てのデジタル化を実現します。

*OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。 Copyright © 2020, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

日本オラクル株式会社 〒107-0061 東京都港区北青山2-5-8 オラクル青山センター oracle.com/jp

お問い合わせ窓口



TEL 0120-155-096

受付時間 月～金 9:00-12:00/13:00-17:00 (祝日および年末年始休業日を除きます)

URL oracle.com/jp/contact-us

